

津房地区の皆様へ

まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第23号 平成29年10月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

若者定住促進住宅の建設スタートしました

入居者募集中！

協議会だより第22号でお知らせした旧津房小跡地に建設される市営・若者定住促進住宅の建設事業がいよいよスタートしました。

この事業に関連した最初の工事として、永年に亘り休園扱いとなっていた「津房幼稚園」の園舎取り壊し作業が1月5日に始まり、多くの住民にとって多くの思い出をつくってくれた園舎が一日にして姿を消しました。

卒園者をはじめ、園舎取り壊しに一抹の寂しさを覚える方が多いでしょうが、すぐ横の旧小学校校舎跡には真新しい3戸の住宅が来年2月に完成、貴重な地区中心部の遊休地が保育園や小学校の児童数の増加に繋がり、また、地区の活性化の一助として活用され、津房の将来に寄与すること、今回の寂しさを補ってくれるに違いありません。

これから始まる住宅建設工事に際し、近隣の集落や世帯におかれては、工事車両の通行や現場からの騒音発生で若干のご迷惑が掛かることが予想されますが、地区の総意として要望し、また、集落の活性化にも繋がる事業であることを考慮いただき、皆さんの全面的なご協力をお願い致します。

なお、前号でお知らせした当該住宅への入居者募集はすでに始まっており、ことしの12月4日(月)までの受付期間となっています。

募集要項や入居申込用紙は宇佐市のホームページから入手できますが、インターネットが使えない場合、次のいずれかへ電話でお問い合わせ下さい。

① 宇佐市・観光まちづくり課コミュニティ係

電話 0978-27-817

② 津房地区まちづくり協議会・事務局

電話 0978-48-2001

※ご希望の方には現地案内も準備しますのでお気軽に申し込みください。



園舎は更地に変身、すぐ横の津小校舎跡地には早くもベタ基礎が打設されました。

来年2月中旬には延床面積91.2㎡の木造平屋戸建、3戸が完成します。新しい住宅から元気な黄色い声が聞こえてくるのが楽しみです！



ちょっと寂しい園舎取り壊し

ふれあいサロンへのお誘い

高齢者を対象に、日ごろの運動不足を補う健康体操や余興で心身ともにリラックスをしていただき、また、婦人ボランティアの方々が腕によりをかけて調理した豪華なバイキング料理を味わっていただく「高齢者ふれあいサロン」を、今年も地域ごとに順次開催します。

北部集落向けは10月2日にすでに開催しましたが、これから中央、西部、尾立、南部と順次開催しますので、老人クラブのメンバーや区長さんからの誘いを受けた際は、引込み思案にならず、是非ご参加下さるようお願いいたします。



みんな 楽しい モチマキ

一糸乱れぬチームワークで餅づくり

「ふれあい大運動会」開催されました

去る9月24日、恒例の津房小学校と地区民との合同運動会、「津房ふれあい大運動会」が開催されました。

当日は好天に恵まれ、22人の津房小児童による元気はつらつとした競技を中心に、地区出身中高生の参加競技、可愛い津房保育園児の演技、四地区対抗の地区民競技などでイベントはたいへん盛り上がりようでした。

ことしも当協議会では、実用を兼ねた団体競技、男女ペアで土嚢に砂を詰めて走る速さを競う「防災訓練」のスポンサーとして、また、運動会最後のイベント、老若男女関係なく楽しめる「モチマキ」の提供を通じて参画しました。

前日の9月23日には板場の佐藤恵美子さん、東椎屋の遠嶋武士さんから提供頂いた分を加えた合計2俵のもち米を使って、婦人ボランティアと協議会役員有志の混成20人によるモチマキをしましたが、4000個ほどの小餅づくりはかなりハードな作業です。

参加者へモチマキを楽しんで頂きたいと、毎年頑張っています。(裏方紹介です)



♪カラオケセット♪ 無料貸し出しします

ふれあいサロンでの余興用としてカラオケセットを購入しました。テレビや新聞のC.Mで小林 旭さんが歌っているお馴染みのものです。

演歌～童謡なんでもあります！

テレビに繋ぐだけで伴奏、歌詞、背景が出ます。集落の行事や高齢者サロンでどしどしご利用ください。

津房っ子の入園 募集中！

津房保育園



ご寄付等のお知らせ

○9月24日の地区ふれあい大運動会に際し、左記の方々からご寄付等を戴きました。
たいへん有り難うございました。

① 東椎屋 遠嶋武士氏より
モチマキ用もち米

② 松本 井福芳彦氏より
金一封

③ 六郎丸 津房館さんより
金一封

④ 六郎丸 えとうショップさんより
金一封

⑤ 津房郵便局長 宮本正彦氏より
金一封

○津房中学校昭和37年度生(37会)が古希を迎えたのを機に、8月25日に開催した記念同級会の会費で生じた剰余金から、多額なる協賛金を寄せて戴きました。
ふるさとを思う気持ちを大事に頂戴し、高齢者支援事業を中心に有効活用させていただきます。